

3つの柱で 新市の基礎づくりを

松浦市長
友広 郁洋

これからの4年間を、新市の基礎づくりを行う期間と位置づけ、2万8千市民の融和と地域の一体感の醸成に努めるとともに、新市建設計画の具現化に取り組み、次に挙げる3つの柱に沿って、信頼され、期待される市政運営に努めてまいります。

【役所改革】

簡素で効率的な行政運営を進めるための組織機構の見直し、職員定数並びに給与の削減、内部管理費の節減などに取り組み、市民皆様から信頼を得られるような市役所へと改革を進めてまいります。

【官民一体のまちづくり】

官民を問わず幅広く知恵を集め、施策に反映させる体制づくりの前提として、徹底した情報公開により市民皆様との情報の共有を推進し、説明責任の徹底を図ってまいります。また、地域審議会をはじめ、市民皆様から幅広く意見を伺いながら、それぞれの地域の個性を活かしたまちづくりを進めてまいります。

【支援体制の構築】

今後一層激しくなる地域間競争を勝ち抜くには、自治体としての基礎体力をつけなければなりません。自立の過程において、国や県からの支援が不可欠であり、良好な信頼関係を築くべく努力してまいります。また、近隣自治体との相互支援体制の構築を図ってまいります。

平成18年度 事業方針

【行政改革大綱、総合計画の策定】

住民サービスを維持しつつ、簡素で効率的な行政運営を進めるために、行政改革大綱を策定します。新市建設計画の具現化を図るために、総合計画の策定に着手します。

【産業の振興】

（農業）集落リーダーの育成および集落営農組織の設立に取り組み、農業および農村の活性化を図ります。

（水産業）魚場造成、栽培漁業ならびに資源管理型漁業、担い手対策、販売・流通対策などに取り組みます。

（商工業）企業誘致に向けた取り組みを強化するとともに、商工関係団体と連携を図りながら、地域産業の活性化を進めます。

（観光）広域観光ルートの開拓、グルメ観光の開発および推進等とあわせ、体験型観光事業を積極的に支援し、

交流人口の拡大に努めます。
【保健行政、福祉行政の推進】

市の健康づくり計画である新たな「いきいき松浦21」の策定に取り組みます。

第3期介護保険事業計画を策定し、事業を推進します。また、地域包括支援センターを設置し、介護予防に努めます。

国民健康保険事業、老人保健事業の運営は、医療費の抑制対策等を積極的に講じ、健全な運営に努めます。

松浦市民病院の外科医師の確保に全力で取り組みます。

【教育行政の推進】

教育施設の整備、地域文化の振興、伝承文化の継承・発展、スポーツの振興をめざします。

【生活環境行政の推進】

生活環境負荷の低減に向けた事業の推進とあわせ、環境問題に対する市民の意識啓発に努めます。

【水道事業、下水道事業の推進】

安全で安心して飲める水

の安定供給に努めます。また、平成19年度末の供用開始に向け、公共下水道事業の整備を行うとともに、受益者負担金および下水道料金の検討を進めます。

【都市基盤の整備】

西九州自動車道は、国や県の関係機関と連携を図りつつ、早期完成に努めます。また、地方道路は、緊急性、公平性及び事業効果を考慮しながら整備を進めます。

【常設市民相談室の設置】

常設の市民相談室を設置し、各種相談業務を実施します。また、長崎労働局と共同で設置する地域職業相談室も併設し、市民の求職活動における利便性の向上を図ります。

【九州電力松浦発電所2号機問題】

九州電力から地域振興対策事業への資金協力が決定しています。市議会ははじめ市民のご意見をいただきながら、地域振興のために有効に活用したいと考えています。